

モニタリングレポート(平成29年度)

施設名	伊勢型紙資料館				
施設所在地	鈴鹿市白子本町21番30号				
指定管理者名	伊勢型紙技術保存会				
評価担当課	文化財課	問合せ先	059-382-9031		
施設の運営状況	(確認方法)月次報告書及び年度事業報告書				
開館日数	248日	総利用者数	4,392人	1日当たりの利用者数	18人
開館時間	午前10時から午後4時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	1,300,000	1,300,000	0		
雑収入(前年度繰越金)	164,798	164,798	0		
雑収入(利息)	0	6	6		
収入計	1,464,798	1,464,804	6		
人件費	1,200,000	1,208,300	8,300		
消耗品費	60,000	1,150	▲ 58,850		
委託費	80,000	135,441	55,441		
保険料	40,000	34,090	▲ 5,910		
その他	84,798	35,832	▲ 48,966		
支出計	1,464,798	1,414,813	▲ 49,985		
収支	0	49,991	49,991		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	適切に履行されている。
	現地調査	○	適切に履行されている。
	定例報告会	○	適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	良	任意アンケートから概ね満足の回答を得ている
	現地調査	良	衛生・景観面ともに良好な状態が保持されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表	—	
	損益計算書	—	利益を求める団体ではない
	キャッシュフロー計算書	—	
	年度事業報告書(事業収支表)	○	確認事項は問題なし。
	その他財務諸表等	○	確認事項は問題なし。
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
業務の履行, サービスの質, 業務遂行能力, いずれの点においても概ね良好である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
上半期・下半期で各1回, 報告会を実施し, 質疑応答及び課題共有を図った。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
特段の緊急事態発生はみられなかったが, 取材等の申出が多い施設であり, 今後も報告・連絡・相談の徹底を図るよう確認した。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
伊勢型紙の高度な彫刻技術を有する団体であり, その強みを活かしたサービス向上に期待する。一方で以前からの課題である施設の管理面については, 引き続き指定管理料の範囲内で外部委託の活用も図り進められたい。			
施設の課題と対策			
旧伊勢街道に近く, 公共交通機関においても, 便利な場所に位置することから, 鉄道事業者との連携を強化し, 街道ウォーカーの来館者数増に努めたい。			
施設の方向性			
伝統的な木造建造物で, その維持には難点も多いが, 施設へのニーズは高く, 不可欠な施設であるため, 今後も注意しながら施設を維持していく方針である。			